



ら しん ばん
羅 針 盤

2022年11月14日 第30号

魚住東中学校 校長室から



私の自由研究

校長 赤松 弘一

今年も市内の中学生が取り組んだ夏休みの理科自由研究の作品展が明石市立天文学館にて開催されました。展示作品は各校で特に優れたものとして選ばれたものですが、その展示作品の中から、さらに優秀な7点が選ばれ、10月22日に明石駅南のパピオスに於いて、その素晴らしい研究のプレゼン発表会が開催され、努力と成果が表彰されました。

魚住東中学校からは1年5組 柏木惺葉さんの「光のマジック」が優秀賞を受賞し、研究のプレゼン発表を行いました。柏木さんは光の性質について理科の授業で学んだことに興味を持ち、さらに深く光について調べました。特に自作の実験器具を製作し、工夫して光の性質を調べる実験をし、その結果を分かりやすく丁寧にまとめたことが高く評価されました。そして当日のプレゼンでは視覚的に工夫されたパワーポイントを活用して見事な発表を行いました。



この日は他校の6人の生徒も表彰され、プレゼン発表を行いました。どの発表も、自分の住む地域や生活と関連する事柄について興味を持ち研究したもので、自分のオリジナルな発想に基づく計画力と、困難を乗り越えて主体的に研究を成し遂げるチャレンジ力が感じられました。教科書から離れたことを深く追求する研究ですが、その研究の基礎には学校での学習が不可欠であることは言うまでもありません。7つの作品を聴いて講評させていただきましたが、とても中学生と思えない高度な内容と発表に、賞賛の言葉しか思いつきませんでした。彼らの中から将来素晴らしい科学者やエンジニアが誕生することを確認しました。

自由研究に取り組むことで「問題解決力」「チャレンジ力」「自己肯定感」が高まります。これをチームで行い、一つの目的に向けて力を出し合うとき、「協働」と「他者理解」の力も身に付きます。人は学校を卒業しても生涯を通して学習や研究を続けて自己を高めていくことが大切だと思いました。結果が残せるかどうかはわかりませんが、日々課題に向き合うことで自分を高めることができるでしょう。そして学校での学びの先には、人生という自由研究が続きます。

本校では「認め合い、支え合い、挑戦する集団を目指して」をテーマとして、令和3年・4年の2年間にわたって教師と生徒がともに研究に取り組んできました。11月18日（金）にその発表会が行われます。魚住東中学校の挑戦を市内の多くの先生方が参観に来られます。この2年間の取り組みがどのような形になったのか、その努力の成果と皆さんの変容を見ていただきたいと思います。（保護者・一般の方の参観はできません）

保護者の皆様へお願い

11月18日は上記の通り、本校は研究発表会を開催します。生徒は5時間目終了後14:30を目途に下校します。部活動はありません。また給食はありませんのでお弁当の準備をお願いいたします。（来校者には消毒、マスク、検温等のコロナ感染対策を徹底します）